

リウマチ・難病福祉作業所
ワークショップ '99

ワークショップ '99 通信

「これからの活動に向けて」

ワークショップ '99 代表 秦 栄子



いよいよ21世紀も開幕致しましたが皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当作業所にご指導ご協力を賜り誠に有難うございます。

さてリウマチ・難病による身体障害者を取り巻く現状でございますが、障害者に対する施策が国際的な障害者年運動等によりかなり進んできています。しかしながら、難病等に関わる行政サービスや民間も含めての社会的資源は医療・保険分野に偏っており、難病者のライフサイクル全体を見通した総合的難病対策と言う点ではまったく遅れていると言わざるを得ません。特に1998年社会福祉基礎構造改革によって障害者の施策が大きく変化しており、措置から契約へと福祉サービスの点でもリウマチ難病者は特定15疾患として新たなる介護保険の制度に組み込まれており、その利用については戸惑いを覚えることも多々あります。

私達はこの流れの中で現状を認識しながらどのような状況にも対処できるよう足腰の強さを身につけなければなりません。

*JPC結成宣言には「私達は、どのように重い障害を持ち、どのように重篤な状態にあろうとも、生命の最後の一瞬にいたるまで、人間としての尊厳を有するものである。」また、「人間尊厳、生命の尊厳が全てに渡り、何よりも大切にされる社会を」とあります。

どのような強い人も一人で立ち向かうことはできません。私達は障害当事者及びそれを支える家族と共に、お互いの励ましと助け合いの精神で持って病気や障害による苦しみや困難、差別や偏見を克服し、より人間らしい生活がおくれるよう支援の活動を行います。

今後とも障害者・健常者の隔てなく「心のバリアフリー」とも言うべき相互理解の連帯の輪を広げつつ新たな世紀を生き抜いて行く。そのような活動に微力ではございますが取り組んで行く所存でございます。

*JPC結成宣言

日本患者・家族団体協議会
(Japan Patients Council)
1986年6月15日わが国において初めて患者運動の全国統一組織が発足した際の宣言。原因不明の、治療法未解決のいわゆる「難病」や長期慢性の病気、進行性の病気、公害や医療災害、また労働災害・交通事故による後遺症などの、患者障害者とその家族の団体の連帯組織。

目次:

これからの活動に向けて	1
地域の皆様と共に	2
作業所の活動紹介	3
2000年度活動記録	4
障害者研修会	6
一般会員募集 ・スタッフ紹介	7
作業所案内図	8

地域の皆様と共に

町会長あいさつ

平成13年3月

中浜第7町会会長

小森 國雄

ワークショップ '99相談役



中浜第7町会会長
小森 國雄 様

厳しい寒さも、過ぎ去り日ごとにやわらかな春の息吹と共に、花々の活躍する季節になりました。ワークショップ '99の会員の皆様にはますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。

昨年、一昨年と顧みます折り、日一日と躍進されている様子が伺えます今回の区民ホールで開催された「2001年文化の祭典」のバザーも手作りの商品が数多く皆様方の暖かさが伝わってくる様です。これも一重に皆様の精進の賜物と思います。これからの世の中、人間も動物も植物も共存共栄の21世紀です。更なる活躍を期待してやみません。私ども第7町会役員一同微力ながら、お力添えさせて頂きたく思っています。



1999 事務所でのバザーにて

中浜の皆様と共に

中浜第七町会会長小森様ならびに町会の皆様におかれましては、障害者に対し深いご理解のもと作業所開所当時より各種行事におきましてバザー品の提供、その他さまざまなご支援ご協力をいただき誠に有難うございました。また「ボランティアフェスティバル」・「城東区文化の祭典」などの行事には町会あげてご参加いただき所員一同感謝の気持ちで一杯でございます。

またこの度、町会長小森様にはワークショップ '99の相談役をお引き受けいただき大変心強く思っております。

まだまだ至らない私達ではございますが今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

作業所の活動紹介

1. ワープロ等のパソコンの勉強。

月2回インディペンデントの本多さんを講師に迎え、パソコンの勉強会を行っています。すでに「ウィンドウ入門」が終わり今は「ワード」について取り組んでいます。普段なれないパソコンで、悪戦苦闘していますが作業所のホームページの開設を目指し頑張っています。



2. 障害者自立のための研修会。

障害者が住み慣れた町で自立して生活して行くのに必要な経験や知識を身につけるための、心構えや障害者のための制度などの勉強、情報を得る場として、隔月にて専門家や関係者の方をお招きし研修会を開催しています。

3. 自助具、福祉機器等の販売。

体の不自由な方の生活を支える道具として必要な自助具、福祉機器の紹介を行うと共に、販売を行っています。作業所での一部展示もしておりますので手にとって御覧いただけます。

4. 各種手芸品の製作、販売及び手芸講習会の実施。

手作りの手芸品の製作がいつもの作業です。商品としては和紙を使った根付、眼鏡ラック、和紙アートなどがよく売れています。隔月で講師を招いて新しい手芸品の講習会を行っています。また、手芸品を預かったの委託販売も行っています。



5. リウマチ・難病等障害者の送迎（活動、病院等）。

会員の方を対象に外出、通院時の支援として、当作業所職員、ボランティアによる送迎サービスを行っています。

6. リウマチ・難病等の啓発活動として講演会の開催、関連図書の販売。

リウマチ・難病福祉作業所としてリウマチ友の会、難病連等関連団体に加盟し、利用者の皆様にさまざまな情報を提供すると共に社会資源の活用を図っています。



7. 地域交流の一環として地元行事等でのバザー参加。

全員お祭りが大好きで、作業所のPRも兼ねて積極的にバザーに参加しています。昨年10月に行われた「ボランティアフェスティバル」は大きな大会への初めての参加でしたがバザー品の完売及び他団体との交流もでき大成功に終わりました。今後ともどんどん参加したいと考えています。

2000年度



障害者研修会



障害者住宅見学



障害者研修会

障害者研修会

4月 6日(木)

「移動入浴サービスと介護保険」

講師 ケアフル 藤本 恵さん

6月 5日(月)

障害者住宅見学

茨田大宮 奥田さん宅

7月24日(月)

「社会制度の活用について」

講師 大阪府立成人病センター

医療相談員 川田 美也子さん

10月19日(木)

「中途障害者の心のケアと介護保険」

講師 関西医大病院

医療ソーシャルワーカー 宮崎 恵子さん

12月21日(木)

「障害者の自立について」

講師 頸損連絡会

自立生活センター・なにわ西

代表 宮脇 淳さん



手芸講習会

5月18日(木)

「押し花アート」

講師 三浦 里恵さん

7月 6日(木)

「ピエロぬいぐるみ」

講師 東野 玲子さん

9月21日(木)

「折り紙・くすだま」

講師 高橋 高子さん

12月 7日(木)

「クリスマス リース」

講師 森家 初枝さん



手作り手芸品(根付、和紙のキーホルダー、爪楊枝入れ)が大阪市民生委員児童委員大会の記念品に採用されました。

パソコン講習会

講師 インディペンディント 本多 義哉さん

〔ウィンドウズ入門〕

4月 14、20日

5月 11、25日

6月 8、22日

7月 13日

8月 10、24日

9月 14、28日

10月 12、26日

11月 9、30日

〔ワード入門〕

12月 14、18日

1月 18、25日

2月 3、8、22日

3月 8、22日



活動記録

行事参加

- 10月 1日(日)
ボランティアフェスティバル
大阪城公園・太陽の広場
- 10月29日(日)
オリンピック招致城東区民大会
区民ホール
- 2月16日(金)
文化の祭典 役員会 区民ホール
- 2月25日(日)
難病連総会 アピオ大阪
- 3月 3日(土)～4日(日)
文化の祭典 区民ホール



ボランティアフェスティバル

主催者の大阪市ボランティア情報センター所長福田雅子さんが、参加200団体の中でも「生き生きとしたさわやかな姿が素晴らしい」と評価をいただきました。

この方はNHKの解説委員でもあり、後日、作業所を見学に来られ、NHKのラジオ番組でも活動を紹介されました。



2001年文化の祭典



社会見学(トイザラス)



レクリエーション

- 5月22日(月)
社会見学(トイザラス)
- 11月26日(金)
ホテルニューオオタニでランチ
- 12月21日(木)
クリスマス会
- 1月11日(木)
新春の集い

たまにはリッチな気分
サービスランチ
¥1,300円也
ホテル ニューオオタニにて

障害者研修会

記録 熊城

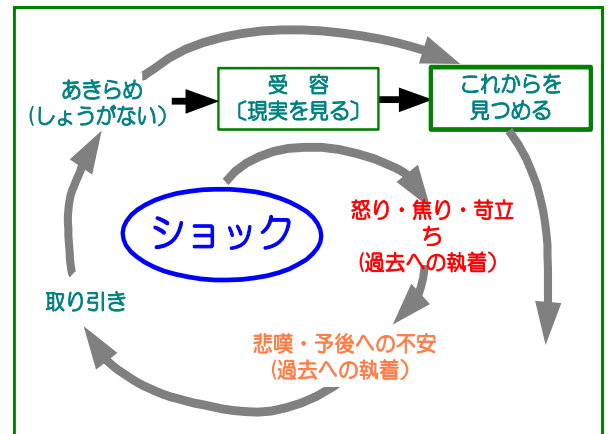
・月日 平成12年10月19日(木)
 ・講師 関西医大病院 医療ソーシャルワーカー
 宮崎 恵子さん

テーマ 「中途障害者の心のケアと介護保険について」

関西医大病院医療ソーシャルワーカーの宮崎さんをお招きし、お話が始まりました。

☆重い障害が残ることが予測されるような病気、怪我になった時、

はじめに人は皆ショックを受け怒り・焦り・苛立ち（過去への執着）と気持ちに変化し又拒否もする（私だけは違う） → 悲嘆・予後への不安（過去への執着）患者は一番辛い時その時家族は、ただじっと傍に居てあげるだけで役に立つ → 取引をする（前のように元気になればこうする）成長している前の自分と比較する → あきらめ（しょうがない）こうなれば楽になって病気を受け入れられる → 受容（現実を見る） → これからを見つめる（これからどうして生きていこう又人の話を聞く視野が広く又考えが広くなっていく）



発病後の心の動き

最後に 人は人、私はわたし

心は自由になっても自分を作るのではなく今を大事に生きて行くことと締めくくられました。

中途障害者の再適応過程および援助方法

出典 「心理社会的問題を持つ患者への援助」

段階	過程	反応(対処課題)	援助技法(介入)
第1段階	孤立、隔離	無表情 人との交わりを避け、孤立、不活発	イ. 患者のそばに居るだけでよい。 ロ. 日常の具体的な問題の処理に援助の焦点を絞る。
第2段階	抑うつ状態	欲求不満、怒り、絶望感、ひげめ、睡眠障害、食欲不振、大げさに泣く、自己憐憫	イ. 支持的な援助 ロ. 患者が怒りや欲求不満を吐き出だすようにする。
第3段階	投射と否定	不安に対する防衛、否定怒りをぶつける。	イ. 患者が用いている投射や否定を具体的に説明してやる。 ロ. 医学的事実について患者や家族が理解できるように、タイミングよく医師に援助を求めを援助する。
第4段階	統合	障害を受け入れ、何とか生活を続けていこう努力する。 現実的反応。	イ. 障害者も社会的に貢献できることを知らせ、次第に社会の中で受け入れられていくことを教える。 ロ. 他の同様の障害者を持つ患者仲間との接触を持たせるよう援助する。
第5段階	行動化	退院後のことを考え始める。	イ. 障害を受けていない健全な部分を生かして生活して行くよう援助する。 ロ. 社会資源を活用することにより、自ら生活設計を立てることができるよう準備する。 ハ. 退院に備えて装具の準備や、施設への入所手続きを始める。

他に介護保険について持参の資料を元に説明されました。

一般会員募集！！

ただいま一般会員を募集しております。会員希望の方は作業所までご連絡下さい。

一般会員になるには

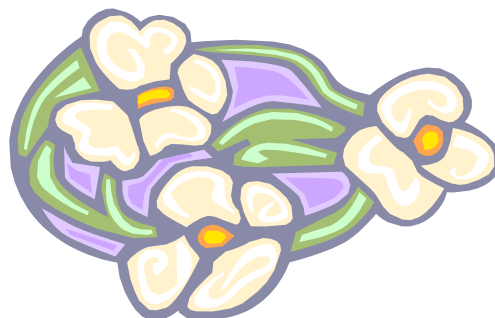
1. 当作業所の趣旨に賛同いただける方で、基本的には障害をお持ちの方が対象です。
(その他の方もご相談ください)
2. 年会費 1口 1,000円

一般会員の特典

1. 有償ボランティアの利用
2. 作業所の自主商品(手芸品) 自助具製品、健康食品、病院への送迎。
介護派遣料金の割引。
3. 各種行事の案内・参加
4. 通信の送付

スタッフ紹介

代 表	秦 栄子
運営委員	熊城 利子(書記)、富松 政子(会計) 樋上 芙美代、福島 郁子、坂本 美智子
監 事	仲嶺 真優美
広 報	田中 由美子
職 員	前 順子(常勤) 羽賀 一恵、水本 末子、他3名
ボランティア代表	門田 朱実 他8名
送 迎	倉本 昌治
利用者	13名



リウマチ・難病福祉作業所 ワークショップ'99

〒536-0024
大阪市城東区中浜3-16-22
グリーンロード ニシバヤシ102号

TEL 06-6964-6535
FAX 06-6964-6536

開所日と時間

・月・木曜日（祝日は休み）
午前10時30分から午後4時まで



道順

- ・JR
環状線 「森の宮」下車
地下鉄中央線 石切り方面乗換え
学園都市線 「鳴野」下車
市バス幹線35号 杭全方面乗換え
- ・地下鉄
中央線 「緑橋」下車
徒歩10分(約300m)
- ・市バス
幹線35号 守口車庫～杭全「地下鉄緑橋」下車
徒歩10分(約300m)



サロン活動

最近障害者活動の中で使われ始めました。その意味は障害者もそうでない人も気軽に参加できるサロン風の憩いの場を提供してノーマライゼーションの取組みを展開している活動ということですが、私たちもそのような雰囲気の中で、リウマチ・難病福祉作業所を成功させていきたいと考えています。

